夕刊
磐城日報
発行所　磐城日報社
白銀町十二
電話（呼）一〇三八番
編輯兼発行人　後藤幸夫
印刷人　丸山徳平
毎週水曜日休刊
一ケ月三十円　一部一円　購読料

# 折柄の烈風中に
## 小名濱で十七戸全焼
### けさ午前三時ようやく鎮火

今二十八日午前零時二十分頃小名濱町古港海産物加工業小野泰政さん宅より出火折柄の風速八米の北西の風にあおられ、たちまち十五棟二十七戸を全焼更に燃え擴がんとしたのを消防隊必死の活動により全三時漸く消し止めた損害は二千萬圓以上に達する見込みであり原因に就ては目下取調中

尚焼失家屋は左の通り

野原正蔵（下駄屋）野島熊司（漁夫）小松政治（無）小松錦之助（風呂屋）相川六郎（電工）志賀清四郎（雜貨）小野長壽（材木業）丹きの（無）石井つる（魚行商）堀内明（漁夫）平間榮次郎（水産加工事務員）新妻忠（漁夫）遠藤松男（機關士）秋山清次（船員）山野うめ（無）小野正松（無）濱名新（石鹸工場）長瀬政治（漁夫）鈴木忠吾（漁夫）馬上與三郎（漁夫）志賀寅與野澤重之（海産加工）野澤庄次（無）渡邊よし（無）松井吉男（無）小野清英（本屋）

全町火事の急報を受け平消防團はじめ内郷、湯本植田の各自動車ポンプ九台が出動して消火に必死の努力を續けたので全町民から感謝されている尚幸いにも一名の死傷者もなかつた

## 「幸運の當り番號」
### きょうの抽籤會で判る

二月の寶くじ百萬圓當籤の抽籤會は二十八日仙臺東北劇場で行はれたが、一等百萬圓は末尾八の組の一九二、七五六、二等五十萬圓は末尾九の組の一〇七、二五四、三等三十萬圓は末尾一の組の一〇二、八八一である

## 義民顯彰碑鍬入式

元文義民顯彰會では昨二十七日午前十時から鎌田山五

## 商賣不安時代
### 物價はどこ迄下る？
#### 物によつては三分の一の値段

税金攻勢の爲の安賣りだかそれともどこ迄下るのか先の事がわからない爲大きな不安が手傳つて投賣りするのだがそのところ業者以外の人々には一寸判斷つかぬが、いずれにしても衣料品を筆頭に日用雜貨品から食肉方面迄が物凄いネ下りラッシュ？だ、ヤミ米を賣ふそれ位だからアメ玉などは爲にタンスを空にしたのは決して古い悲劇ではなかつた、そのうらめしい米が今は百匁七十圓が安いと思つたら賣りにきたのが六十円とあり丸公百匁百八十圓時代に比べると三分の一という値段だから業者の不安が無理はない

## 義シ義足巡回修理

不幸な身体障害者に對する福シ事業の一環として縣當局並びに日本赤十字縣支部主催で義肢、義足の修理巡回をすることになつた（期日未定）平市に於ける二十四年二月十四日迄の調査によれば身体障害者十六名中上肢一側、下肢一側の不具者が大部分を占めている

## 圖書館教育研究

石城圖書館教育研究協議會は來る三月四日平第三小學校に於て各小、中、高學校の圖書主任を招集して行う

## 技術者養成試驗

技能者養成試驗は來る三月二十九、三十日左の如く行はれるが船大工は學科を小工場で開く

## 赤十字の宣傳標語

赤十字の社旨の徹底を期すため石城出張所では各學校方面に呼びかけ作文、ポスター標語の懸賞募集をすることになつた優秀者に對しては賞金を贈呈する

## 特別安全指導會

指定事業場特別安全指導會はきたる三月十日日本水素

## 主食のヤミ値
### 今のところ足踏み狀態

石城地方の主食のヤミ相場は過ぎた關係からか大した變化がなく足踏み狀態を續けており白米は一升八十圓、モチ米は十圓高の九十圓、むぎは米より高く九十圓から百圓となつているがこの闇ネはこれで安定したというのではないので主食のヤミ專門屋は姿を消している

## 町内から
### 見舞金を募集

小名濱大火に就て町當局で

## 御厩部落館發館式

霊神社境内に會長諸橋久太郎、賛助員根本忠孝、荒井志ゝ數集まり義民顯彰碑鍬人式を盛大に行つた

## 農試分場

農試分場長氏らの外村内有名濱町水産試場で、實技報社二階で實技をスピーディ商會で行うが勞基署では之に對する希望者は三月五日迄屆け出る樣希望している

## 車修理

車修理工は學科をいわき民

## 内郷下方部連合青年會結成

（既報）内郷町下方部の三部落青年會聯合總會は去る二十六日開催愈々實を結ぶことになつたが同會ではきたる五日夜御厩小學校で役員會を開き會則規約を草案遲くも三月中旬に結成式を擧行する事とした

## 内郷町大字御厩の部落館設立問題

この程解きたる三月十二日發館式を擧行する運びに至つた尚全日は各部會（厚生、産業、教養）より本年度中の計畫發表后常磐バンドによるレクリエーションを行う豫定である

へ店當は造改及理修
力
メ
ラ
材
料
◇技術の◇
美鈴
平市田町七四　隣報民いわき

# 肥料の値上りで完全に參る地方農家

## なんとかしてと悲鳴あげる

三月から三五パーセントの燐酸十六円硝安六十八圓だ値上りとなる肥料は七月かがしかしこのね段はきようらは更に七〇パーセント方迄で三月からは何れも三割値上りするが一方農作物は五分のね上げとなるので果昨年に比較して平均四割方してね上げ分が野菜に加えの値下りを見せているのでる事が出來るかどうかは疑農村はいよ〳〵深刻な不況間の爲石城地方の農家では肥料配給は反當田畑を通れなきや農家は完全に參つに見舞れる事になる。現在肥料の面をなんとかしてくし六百圓から六百五十圓でてしまうと悲鳴をあげていの肥料の面をなんとかしてく単價は貫當り硫安四十八圓る

## 死一歩手前で

### 若き男女救はる

市内紺屋町扇屋旅館に止宿してた東白川郡宮本村字松川我妻俊夫君(三三)同村農協組書記久保わかさん(三〇)は二十七日午后二時半頃アドルムを呑んで情死を圖り苦悶中を發見された、一命はどうやら取止めるらしいが男はかなり重態である原因は夫婦になれないのを悲感した結果

てゝあつたのを發見町署で犯人捜索中

### 留守中に盗難

市内磐宜町阿部永次郎さん(三四)方で二十六日のヒル間家人の留守中に衣類十点價格一萬二千圓相當を盗まれた

### 便所から

嬰兒の死体發見

二十七日朝六時頃内郷町常磐炭礦病院の職員便所に八ケ月位の男兒の死体が捨てた故障を起しを發したが小

### えびす丸は無事

二十七日朝小名濱町小野義男氏所有底曳船えびす丸（四四トン）は請戸沖で機關

名濱海上保安署から直ちに救助せんが出動し午后同せんを無事小名濱に曳港して來た

### お祭り

◆沼の内辨天の例大祭は來る三日行はれる

## ニュース（東）（西）

▲（茨城）宣壁町花街の三業組合はひと頃は馬鹿景氣に見舞れてテンヤワンの大賑いを呈し懐工合もホク〳〵だつたがこの頃ではお定りの金詰りに加へて税金旋風、遊興税の支拂いも滿足に出來ないので思案投首だつたが幹部間で協議した結果背に腹はかえられぬと四月から斷然休業する事としたとは實にお寒い話

▲（青森）先般弘前市の某デパートで大福モチの大喰い競爭をお客の間で行つたところ同市新寺町の日雇業小枝粕四郎君(二二)が一個五十匁の大福を十七分と二十秒かゝつて二十個（一貫匁）をペロリと平らげて見事一等に入賞現金一万圓を贈られたが御當人の胃袋の偉大さにはデパートのあるじもダーとなつている

## 天聲

建設大臣に望む

政府は住宅建設のため一戸當り三十万圓迄（但し工費の七〇％迄）貸すから希望者は市當局へ申出ろという回狀が廻つて來た。僕等は三十万圓迄はいらない、その三分の一の十万円で結構なのだがサテ十万圓を借りるにはどうしても三万とか四万の現金をもつていなければならないという話だ。こうなると僕らは薄給會社員でそんな余裕はビタ一文もない。結局こうした特別の低利融通にもブラ下る事が出來ず、人の軒下にあく迄サツカケをおろして後何十年も空家の出る迄待つより外に方法がない事になる。政府は工費の七割迄貸すなどという事でなく十五年々賦で全額融通というような方法に改める事が出來ないものだろうか、出來ぬ相談迄にも建設大臣の御一考を煩したい

平市　鈴木甫

十一字詰三十行以内で建設的な意見の投書を歓迎いたします（係）

鍋釜銅鐵類
セメント
ベルト
針金
釘
9
99
999
カマヤに
御用命の程

春の服地展
明るい生活は當店から
川又商店

ホントに
良ク効ク
カゼ薬!!
平市郵便局隣　小野屋薬局　同支店　白銀町七
(TEL144)

酒は灘の生一本
特級酒　月桂冠　お銚子　150円
は　電話七〇二へ
前出「どうぞ……」
銀座通　華香樓
常陽銀行前
お料理は　味で量で精一パイ奉仕の……中華料理

2月の三井
驚くほど安くなりました
衣料品豊富に入荷
◇全店大サービス◇
御買物は是非
三井百貨店
平3　TEL284

27日―5日
ギヤングに非ず！
與太者に非ず！
いつ　一匹狼（おおかみ）
監督　小石榮一
藤田進……菅井一郎
三條美紀……羽鳥敏子
片山明彦……植村謙二郎
銀座ジヤングルに咆えるか一匹狼
世界館